

## 個性を生かした少人数制教育

本学は定員60名の少人数で学びます。その学生数に対して専任教員が40名という環境の中、学生一人ひとりを大切にしたい教育を行っており、看護学の基礎を培う学部教育の充実に努めています。例えば看護実習室や臨床実技トレーニングセ

ンターにおける技術の訓練は、学生全員がモデル人形を使い納得するまで練習ができる環境です。また臨地実習では、学生5～6人のグループに対して本学の教員が実習施設のスタッフとともに直接指導にあたっています。

1年生	2年生	3年生	4年生
医学科生と一緒に演習やディスカッションを行いながら、物事を総合的・多面的に理解する能力、医療者に必要な倫理的知識・技術・態度を修得します。また、看護学の基礎として、解剖学や生理学などを学修します。さらに看護の対象である生活者を理解する学修にも取り組みます。	病気のメカニズムと治療プロセスなどの疾病・治療学や、薬理学、臨床栄養学等の学修を深めていきます。また、課題解決能力を修得するため、「看護過程」の系統的学修が始まります。はじめて病棟で受け持ち患者さんをもつ実習があります。	課題解決能力、地域医療連携能力を修得するための科目が増え、学内演習や臨地実習での自ら考え実践する体験を通し、看護実践力を身につけていきます。また、自分の研究テーマを考えて文献を調べるなど看護研究の基礎を学びます。	実習のまとめとして学生の関心領域における総合実習を行います。医学科との共修でチーム医療や倫理的問題を検討するなど、より専門性の高い科目を履修します。1年間を通して看護研究にとりくみます。

**医療基礎科目**  
事例や場面についてグループワークを行い、看護学生と医学生の立場から倫理について意見交換を行い、考えの異なる人とのコミュニケーションのとり方や人間の理解などについて学修します。

**教養教育科目** 人文社会科学系、自然科学系、外国語が含まれます。20人前後のグループに編成され、課題に対するディスカッションや文献学修、プレゼンテーションを通して物事の考え方や価値観について学修します。

**人間と生活** 人文・社会科学系科目から、それぞれ1科目ずつ選択し、医学科生と共に、少人数形式で学修します。

**自然・情報科学** 実験、演習を通して、自然科学、情報処理などを学修します。

**外国語1** 英語の学修を通して、コミュニケーション力、国際的視野、品格ある態度を身につけます。

**外国語2** 医療英会話の他、英語、独語、仏語、中国語から選択して学修します。

**看護専門基礎科目** 人々の心身の健康を保持・増進するために不可欠な社会環境との相互作用や、医療を取り巻く制度・政策を理解すると共に、健康破綻のプロセスと病気や治療について学修します。

**保健医療** 社会に生きる人々の社会問題・生活問題を学び、健康と生活を維持増進する法的基盤・社会保障・医療福祉システム・保健医療福祉行政・疫学などを学びます。

**人間と健康** 生命の尊厳を基盤に、人体の構造と生体機能を学び、その生命を支えている様々な現象を、生化学・栄養学・免疫学・病理学などから学びます。さらにその人体を脅かす疾病と治療学を学びます。

**看護専門科目** 優れた看護の実践者として、研鑽し続ける生涯学修者としての基礎を身につけます。

**生活援助の基礎** 人々の健康上の課題に対応するために必要な基礎的知識・技術を修得します。

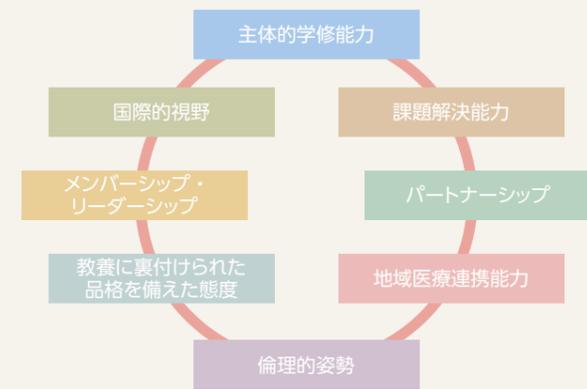
**生活援助の方法** 年齢や生活環境の異なる人々に向けて健康の保持・増進に必要な能力、あるいは病気や障害の程度に応じた看護を実践するために必要な知識・技術・態度を修得します。

**生活援助の実践** 基礎・成人・老年・精神・小児・母性・地域・在宅各領域での実習を通して、対象者の個別性に応じた看護実践の基礎的能力を学びます。

**看護の統合と実践** 看護学科の全教員が関わる看護総合演習や看護研究が含まれています。看護総合演習では、グループ学修やポートフォリオを通して看護職を目指す自分自身と対峙していきます。

## 看護学科ディプロマ・ポリシー (卒業時に備えておくべき能力)

さまざまに変化する社会的要請に応えるために、本学では、専門知識・技術に加えて人のいのちを尊び、人の心を大切にする豊かな感性をもった看護職者が育つよう8つのディプロマ・ポリシーに基づいてカリキュラムを構成しています。保健師国家試験受験資格は選択履修制となり、選択者は3年生から公衆衛生看護学の講義や実習を履修することになります。一方、看護師教育課程選択者は3年生で多様な看護専門科目から選択履修をして実践能力を養っていきます。



生活援助の実践	
<b>生活援助の実践(臨地実習)</b>	理論と実践を統合することによって、様々な健康レベルにある人々に個々のニーズに応じた看護の実践能力を修得します。
<b>公衆衛生看護学の講義・実習</b> ※保健師教育課程選択者が履修	人々が生活する場である地域において、健康と生活を守り、質を高めていくための看護の知識・技術、および看護の機能を社会に幅広く適用させる方法を修得します。
<b>〈総合実習〉</b> 様々なコースの中から、学生が関心のある領域を選択します。4年前期までに学修した知識と技術を統合し、看護の総合的な能力を高めます。	